

# 新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所開設へ



## 訓練の目的

台風などの風水害に備えた自主的な避難を想定して、小学校で避難所を開設し、避難者の受け付け方や避難所内のゾーニング方法など、新型コロナウイルス感染症対策をチェックしました。その結果を今後の避難所開設に生かすことが目的です。

訓練は、①避難所を開設、②避難者の受け入れ、③事後の消毒作業の徹底、の3部構成で行いました。

6月から10月末までは「出水期」と呼ばれ、梅雨や集中豪雨、台風などの風水害が起こりやすい時期です。今年も全国で河川の氾濫など激甚な被害が発生しています。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。

市ではこうした風水害に備えるため、常に警戒態勢を取っていますが、これに加えて避難所運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を期すことが求められています。このため、6月15日によつば小学校を訓練会場として、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施しました。

訓練を通じて、一般避難者と体調不良者の動線をしっかりと分けることの必要性など、さまざまな課題も確認できました。この訓練での学びを生かすとともに、今後も市内の各避難所で訓練を順次実施していく予定です。

市ではコロナ禍でも安全でスムーズな避難所開設と運営に努めたいと考えています。市民の皆さんにも事前の避難準備やいざというときの早めの避難へのご理解・ご協力をお願いします。

問 危機管理室 TEL 06-6992-1497



し、万一の事態に備えて連絡先を確認した上で、本人から何らかの緊急連絡があったときは、市が消防と連携し駆け付けや救急搬送支援を行う体制を取ることとしました。不安が残るかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「ご理解・ご協力をお願いします」。

なお、大震災や市が避難勧告などを出した場合、命を守ることを優先し全ての避難(被災)者を受け入れ、37.5度以上の発熱者または陽性者の濃厚接触者で健康観察中の人が避難された場合は、あらかじめ施設管理者と協議した別室にただちに避難していただく措置を取ります。

## ① 避難所を開設

避難所運営に必要な資器材を準備し、避難者が来られた際に受け入れをするための準備作業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として新たに加わった作業としては、避難所受付への飛沫感染を抑制するためのビニールカーテンの設置、一般避難者と体調不良者の避難スペースを明確に区分するための立入禁止区域の設置や消毒用液剤の各避難スペースへの設置です。



## ② 避難者の受け入れ

職員が避難者役となり、下痢や嘔吐といった体調不良者が来られたときの対応方法や新型コロナウイルス感染症陽性者の濃厚接触者が来たときの対応方法を訓練しました。

今回の訓練では、避難されてきた人には受付で検温と健康チェックシートの記入を依頼し37.5度以上の発熱がある場合、または陽性者の濃厚接触者で健康観察中の人については、自宅避難を原則としてお願いしました。ただ



## ③ 事後の消毒作業の徹底

避難所開設時にも使用する避難スペースの机、椅子などを消毒しますが、閉鎖後も同様に消毒をします。

消毒箇所に漏れがないように「消毒チェックリスト」を作成し、消毒実施者と消毒確認者の2人1組の体制で消毒を徹底します。実際に避難所を開設した際には、共助として避難者にも、消毒作業にご協力いただくことを考えています。市民の皆さんには「ご理解・ご協力をよろしくお願いします」。

